

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 1 区分
 【発行日】平成 18 年 9 月 14 日 (2006.9.14)

【公開番号】特開 2001-211723 (P2001-211723A)
 【公開日】平成 13 年 8 月 7 日 (2001.8.7)
 【出願番号】特願 2000-25285 (P2000-25285)
 【国際特許分類】

A 0 1 D 61/00 (2006.01)

A 0 1 F 12/10 (2006.01)

【F I】

A 0 1 D 61/00 3 0 1 G

A 0 1 D 61/00 3 0 1 C

A 0 1 D 61/00 3 0 1 F

A 0 1 F 12/10 T

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 7 月 27 日 (2006.7.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【書類名】明細書

【発明の名称】コンバインの穀稈搬送装置

【特許請求の範囲】

【請求項 1】刈取後の穀稈を挟持して順次受継ぎながら搬送する株元チェーン（１）と、扱深さ調節チェーン（２）と、供給調節チェーン（３）とから構成した穀稈搬送装置（４）において、前記扱深さ調節チェーン（２）の終端部分で搬送穀稈の稈身方向に沿った下方位置に、穀稈の株元部を外側から規制誘導するガイド杆（５）を、前記扱深さ調節チェーン（２）の挟持杆（６）に連結して設けたことを特徴とするコンバインの穀稈搬送装置。

【請求項 2】供給調節チェーン（３）の搬送終端部と、脱穀装置（７）のフィードチェーン（８）の搬送始端部との間に補助受継チェーン（１０）を配置して設け、該補助受継チェーン（１０）に、基部を前側の刈取前処理装置（１１）に取り付けた薄板状の穀稈ガイド杆（１３）を延長して該補助受継チェーン（１０）の穀稈搬送面に沿わせて設け、前記供給調節チェーン（３）の下側機枠（１４）側から受継穀稈を上方に規制誘導する株元ガイド杆（１５）を延長して設け、該株元ガイド杆（１５）の上側に前記補助受継チェーン（１０）の穀稈搬送面に沿わせて設けた薄板状の穀稈ガイド杆（１３）を配置したことを特徴とするコンバインの穀稈搬送装置。

【請求項 3】一方側に支持装置（１７）を介して扱深さ調節チェーン（２）を設け、他方側に支持装置（１８）を介して挟持杆（６）を連結して穀稈の搬送通路（１９）を形成する U 字状連結部材（２０）において、該 U 字状連結部材（２０）の搬送通路（１９）は、刈取直後に株元チェーン（１）が挟持した部位から株元までの穀稈長さ（Ａ）と、扱深さ調節チェーン（２）の始端部が挟持した部位から株元までの穀稈長さ（Ｂ）と略同等の深さ（Ｃ）を有する構成としたことを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 記載のコンバインの穀稈搬送装置。

【請求項 4】供給調節チェーン（３）の搬送終端部と、フィードチェーン（８）の搬送始端部との間に前部受継チェーン（９）と補助受継チェーン（１０）とを配置して設け、該補助受継チェーン（１０）と前記前部受継チェーン（９）とは、少なくとも搬送終端部分の左右両側に、チェーンプレートの谷部程度の高さに上縁を沿わせた巻き付き防止部材（２１，２

２）を設けたことを特徴とする請求項２記載のコンバインの穀稈搬送装置。

【発明の詳細な説明】

【０００１】

【発明の属する技術分野】

本発明は、コンバインの穀稈搬送装置に関し、農業機械の技術分野に属するものである。

【０００２】

【従来の技術】

従来からコンバインは、前側の刈取前処理装置から後側の脱穀装置に刈取穀稈を円滑に受継ぎ供給するために、刈取側の搬送装置と脱穀側のフィードチェンとの間に、補助搬送装置や穀稈ガイド装置を介装した構成が知られている。そして、刈取前処理装置は、扱深さ調節チェンや供給調節チェンが設けられ、扱ぎ位置を調節した穀稈をフィードチェンに受継ぎ供給する構成としている。

【０００３】

【発明が解決しようとする課題】

上述した従来のコンバインは、扱深さ調節チェンから供給調節チェンへの受継ぎ搬送や、供給調節チェンから補助搬送装置への受継ぎ搬送が円滑性を欠ぎ、適確な受継ぎができず、受継ぎ穀稈が乱れたり、稈こぼれ（「穀稈が搬送チェンから下方に脱落する」こと、以下同じ）が発生する等の課題があった。

【０００４】

【課題を解決するための手段】

本発明は、上述した課題を解決するために次の如き技術手段を講ずるものである。すなわち、請求項１に記載の発明は、刈取後の穀稈を挾持して順次受継ぎながら搬送する株元チェン（１）と、扱深さ調節チェン（２）と、供給調節チェン（３）とから構成した穀稈搬送装置（４）において、前記扱深さ調節チェン（２）の終端部分で搬送穀稈の稈身方向に沿った下方位置に、穀稈の株元部を外側から規制誘導するガイド杆（５）を、前記扱深さ調節チェン（２）の挾持杆（６）に連結して設けたことを特徴とするコンバインの穀稈搬送装置としている。

【０００５】

つぎに、請求項２に記載の発明は、供給調節チェン（３）の搬送終端部と、脱穀装置（７）のフィードチェン（８）の搬送始端部との間に補助受継チェン（１０）を配置して設け、該補助受継チェン（１０）に、基部を前側の刈取前処理装置（１１）に取り付けた薄板状の穀稈ガイド杆（１３）を延長して該補助受継チェン（１０）の穀稈搬送面に沿わせて設け、前記供給調節チェン（３）の下側機枠（１４）側から受継ぎ穀稈を上方に規制誘導する株元ガイド杆（１５）を延長して設け、該株元ガイド杆（１５）の上側に前記補助受継チェン（１０）の穀稈搬送面に沿わせて設けた薄板状の穀稈ガイド杆（１３）を配置したことを特徴とするコンバインの穀稈搬送装置としている。

【０００６】

つぎに、請求項３に記載の発明は、一方側に支持装置（１７）を介して扱深さ調節チェン（２）を設け、他方側に支持装置（１８）を介して挾持杆（６）を連結して穀稈の搬送通路（１９）を形成するＵ字状連結部材（２０）において、該Ｕ字状連結部材（２０）の搬送通路（１９）は、刈取直後に株元チェン（１）が挾持した部位から株元までの穀稈長さ（Ａ）と、扱深さ調節チェン（２）の始端部が挾持した部位から株元までの穀稈長さ（Ｂ）と略同等の深さ（Ｃ）を有する構成としたことを特徴とする請求項１又は請求項２記載のコンバインの穀稈搬送装置としている。

【０００７】

つぎに、請求項４に記載の発明は、供給調節チェン（３）の搬送終端部と、フィードチェン（８）の搬送始端部との間に前部受継チェン（９）と補助受継チェン（１０）とを配置して設け、該補助受継チェン（１０）と前記前部受継チェン（９）とは、少なくとも搬送終端部分の左右両側に、チェンプレートの谷部程度の高さに上縁を沿わせた巻き付き防

止部材（２１，２２）を設けたことを特徴とする請求項２記載のコンバインの穀稈搬送装置としたものである。

【０００８】

【発明の効果】

請求項１及び２に記載の発明によると、扱深さ調節チェン２から供給調節チェン３へ、更に、供給調節チェン３から受継チェンに搬送穀稈を稈こぼれのない状態で円滑に受継ぎ供給することができる。そして、請求項３に記載の発明によると、扱深さ調節チェン２と挟持杆６とを支持するＵ字状連結部材２０は、必要最小限の大きさまでコンパクト化して軽量、低コストとし、藁のひっかかりをなくすることができる。更に、請求項４に記載の発明によると、各受継チェン９，１０への穀稈の巻き付きを防止して適確な穀稈の受継ぎ搬送ができる。

【０００９】

【発明の実施の形態】

以下、図面に基づいて、本発明の実施例を具体的に説明する。

コンバイン２３は、図８に示すように、クロ－ラ２４を装備した走行車体２５上に、脱穀装置７を搭載し、その前側に刈取前処理装置１１を連結して一連の刈取脱穀作業ができる構成としている。

【００１０】

まず、刈取前処理装置１１は、図６および図７に示すように、走行車体２５の前部に設けた支持台２６に、前方下方へ延長した刈取フレ－ム２７の後部を上下に回転自由に枢着して、この刈取フレ－ム２７に刈取装置２８や後述の穀稈搬送装置４を装着して構成している。すなわち、刈取前処理装置１１は、図６および図７に示すように、前端下部に分草杆２９を、その背後に傾斜状にした穀稈引起し装置３０を、その後方低部には上述の刈取装置２８を、更に、刈取穀稈を搬送する株元チェン１と、穂先搬送装置３１と、扱深さ調節チェン２と、供給調節チェン３とを順次穀稈の受継搬送ができるように配置して前述の刈取フレ－ム２７に取り付けて伝動可能に構成している。そして、これら各搬送装置を総称して穀稈搬送装置４と云う。

【００１１】

そして、掻込搬送装置３２は、下部の掻込輪体３２ａと上部の掻込無端帯３２ｂとからなり、各刈取穀稈条列ごとに前記刈取装置２８の上方に設け、穀稈を後方へ掻込搬送する構成としている。

つぎに、扱深さ調節チェン２は、図１および図２に示すように、Ｕ字状に形成したＵ字状連結部材２０の一方側に支持装置１７を介して伝動可能に設け、そのＵ字状連結部材２０の他方側には支持装置１８を介して挟持杆６を張圧状態に連結して構成している。そして、扱深さ調節チェン２と挟持杆６とから構成した扱深さ調節装置３３は、前部を回転支点にして刈取フレ－ム２７上に支持され、扱深さ制御モ－タ－３５にロットを介して連結され、穀稈の稈身方向に扱深さ調節ができる構成としている。そして、Ｕ字状連結部材２０は、図１に示すように、穀稈が通過する内側の搬送通路１９の底面から上側の扱深さ調節チェン２の下面（チェンプレ－トの下面）との間隔（本件明細書では「深さ」と云う）を、刈取直後に株元チェン１が挟持した部位から株元までの穀稈長さＡおよび扱深さ調節チェン２の始端部が挟持した部位から株元までの穀稈長さＢと略同等の深さＣ（図２参照）を有する構成としている。

【００１２】

そして、ガイド杆５は、図１および図２に示すように、挟持杆６の終端部分から下方に支持杆３４を延長して取り付け、搬送穀稈の稈身方向に沿った下方位置で穀稈の株元部を外側から規制しながら誘導する構成としている。この場合、ガイド杆５は、扱深さ調節装置３３から供給調節チェン３に受継がれようとしている穀稈の株元を外側から押さえて外方への膨らみ（挟持状態から開放されたとき起きる）を防止して稈こぼれをなくする機能を発揮するように構成している。そして、前述の扱深さ制御モ－タ－３５は、図示しないコントロ－ラから出力される制御信号に基づいて駆動され、扱深さ制御を行う構成として

いる。

【 0 0 1 3 】

つぎに、供給調節装置 3 6 は、図 6 および図 7 に示すように、供給調節チエン 3 と挟持杆 3 7 とによって穀稈を挟持して搬送するように設け、上記扱深さ調節装置 3 3 の終端部から受け継いだ穀稈を後述する前部受継チエン 9 および補助受継チエン 1 0 に受け渡して供給調節を行う構成としている。そして、供給調節チエン 3 は、図 7 に示す実施例の場合、搬送側を内面から案内する可動チエンレール 3 8 に軸架した転輪 3 9 と、それらより前側に位置してテンション機能を持つテンションローラ 4 0 とに巻回して構成している。

【 0 0 1 4 】

このように、可動チエンレール 3 8 は、上述のとおり供給調節チエン 3 の搬送側を内側面から案内するもので、ロット 4 1 を介して供給制御モータ 4 2 に連結して設け、図示しないコントローラから出力される制御信号に基づいて駆動され、供給調節制御を行う構成としている。そして、挟持杆 3 7 は、供給調節が行われる供給調節チエン 3 の穀稈搬送面に沿せて常時、張圧し搬送穀稈を挟持できる構成としている。

【 0 0 1 5 】

以上述べた扱深さ制御装置と、供給調節制御装置は、具体的には説明しないが、穀稈センサによって穀稈丈を検出し、その検出情報に基づいてコントローラが両方の制御モータ 3 5、4 2 に制御信号を出力して穀稈丈に応じた制御ができる構成としている。

【 0 0 1 6 】

つぎに、前部受継チエン 9 は、図 3 に示すように、フィードチエン 8 の搬送始端部のすぐ前側に、フィードチエン 8 の始端部を分割したように設け、刈取前処理装置 1 1 側の前述した供給調節装置 3 6 から受け継いだ穀稈を後続するフィードチエン 8 に受継がせる構成としている。そして、補助受継チエン 1 0 は、図 3 に示すように、前部受継チエン 9 とフィードチエン 8 との内側に配置して設け、前記前部受継チエン 9 の受継作用時に、穀稈の穂先側を支持できる構成としている。そして、前部受継チエン 9 は、図 3 に示すように、その搬送始端部を、補助受継チエン 1 0 の搬送始端部より前側位置（穀稈搬送方向の上手側）に配置し、終端部分も上記補助受継チエン 1 0 の終端部分より前側に位置させて構成している。この場合、補助受継チエン 1 0 は、前部受継チエン 9 の終端部とフィードチエン 8 の搬送始端部との間の穀稈受継ぎ作用を補助すると共に、超短程（前部受継チエン 9 まで株元が届かない程度の短い穀稈）を受継ぐことができる構成としている。

【 0 0 1 7 】

そして、前部受継チエン 9 と補助受継チエン 1 0 との伝動構成は、図 9 に示すように、刈取前処理装置 1 1 の後部に軸架した伝動プーリ 4 3 からチエンケース 4 4 に入力し、補助受継チエン軸 4 5 によって補助受継チエン 1 0 を伝動し、続いて、前部受継チエン 9 に回転動力を伝動する構成としている。

【 0 0 1 8 】

そして、穀稈ガイド杆 1 2、1 3 は、図 3 に示すように、基部を前側の刈取前処理装置 1 1 に取り付けて後方に延長し、補助受継チエン 1 0 と前記前部受継チエン 9 との穀稈搬送面にそれぞれ沿わせて張圧状態に設けている。そして、株元ガイド杆 1 5 は、図 3 および図 4 に示すように、基部を前記供給調節チエン 3 の下側機枠 1 4 固着して、前記前部受継チエン 9 の始端部に向けて延長して設け、受継穀稈の株元側を下側から支えた状態に受け止めて上方に押し上げるように誘導する構成としている。そして、誘導ガイド杆 1 6 は、基部を前側の刈取前処理装置 1 1 に取り付けて後方に延長し、平面視で前記株元ガイド杆 1 5 の先端部分の上側を通して交差させ、更に、後方の補助受継チエン 1 0 と前部受継チエン 9 との間まで延長して設けている。そして、誘導ガイド杆 1 6 は、株元ガイド杆 1 5 と共同して受継穀稈を挟んだ状態で誘導案内するが、そのとき、上側から穀稈を誘導する構成となっている。

【 0 0 1 9 】

そして、刈取前処理装置 1 1 は、図 6 で解るように、油圧装置によって伸縮する刈取昇降シリンダ 4 6 によって支持し、下部の通常の作業位置と上部の非作業位置との間を昇

降する構成とし、中間位置において、段階的に刈取り高さ調節ができる構成としている。

【0020】

つぎに、前部受継チエン9および補助受継チエン10は、刈取前処理装置11を、刈高さ調節のために刈取フレーム27を上下昇降したとき、搬送穀程を確実に受継ぐために連動して上下回動する構成としている。

すなわち、中間連動軸47は、図10に示すように、刈取フレーム27と一体に回動するギヤケース48（支持台26に回動自由に支持している）にロット49を介して連動可能に連結し、回動自由に軸受支持されている。そして、回動筒体50は、図10に示すように、チエンケース44から外側に突出させた支持筒51（補助受継チエン軸45を内装している）に回動自由に嵌合して設け、基部側に、前記中間連動軸47に連結した連杆52を連結し、先端側に回動腕53を取付けて構成している。そして、前部受継チエン9および補助受継チエン10は、上記回動腕53に連結支持され前記刈取フレーム27が上下に昇降すると連動して、補助受継チエン軸45を支点にして上下回動する構成としている。

【0021】

なお、上記連杆52は、2つの回動アーム52aとそれを繋ぐロット52bから構成している。

つぎに、前部受継チエン9と補助受継チエン10は、図3、図5および図11に示すように、少なくとも搬送終端部分の左右両側にそれぞれ接近させて巻き付き防止板21、22を設けている。そして、巻き付き防止板21、22は、図11に示す実施例の場合は、上部を内側（チエン側）に折り曲げてチエンとの隙間を狭くして藁屑の侵入を防止できる構成としており、しかも、側面視において、チエンプレートの谷部程度の高さに上縁を沿わせて設けている。

【0022】

そして、巻き付き防止板21は、図12および図13に示すように、前部受継チエン9の終端部よりフィードチエン8側に延長して穀程を案内して受継ぎを円滑に補助できる構成としている。この場合、巻き付き防止板21は、特に、外側にある防止板をフィードチエン8側に延長して適確な穀程の受継ぎができ、藁屑等が下方へ落下するのを防止する構成にしている。そして、巻き付き防止板21は、前述のように、前部受継チエン9と補助受継チエン10とが刈取前処理装置11の上下昇降作動に連動して上下に回動したとき、図12に示すように下げ位置では（フィードチエン8との間隔は比較的広がるが）、上縁21aとフィードチエン8の谷部分の搬送ラインとが同一面に揃い、図13に示すように上がった位置では終端部21bとフィードチエン8の始端部とが接近する位置に動く構成としている。したがって、搬送穀程は、前部受継チエン9の上下動に関係なく、常時、適確にフィードチエン8に受継がれ、藁屑等の落下も少ないものとなっている。

【0023】

そして、前部受継チエン9の先端部カバ52は、図14に示すように、前部受継チエン9の先端円弧形状に沿わせて設けるが、その部分のチエンの谷部より内側に設けて構成している。したがって、前部受継チエン9は、前述のように、刈取前処理装置11に連動して上下回動しても、常に、先端部分が先端部カバ52より外側にあるから、受継穀程に適確に作用して掻き取り作用ができる。

【0024】

そして、巻き付き防止板21は、図5に示す実施例の構成では、下側に延長して駆動スプロケット53のカバ機能を発揮できるように構成している。

つぎに、脱穀装置7は、図8のコンバイン23全体から解るように、フィードチエン8を有し、図1に示すように、上側に扱胴54を軸架した扱室55を配置し、下側に揺動選別装置56や圧風唐箕を内装した選別室を設け、供給された刈取穀程を脱穀選別する構成としている。そして、フィードチエン8は、上側に添わせて挟持杆57が設けられ、穂先端部を上記扱室55に挿入した穀程の株元を挟持して搬送する構成としている。

【 0 0 2 5 】

つぎにその作用について説明する。

まず、エンジンを始動して、刈取クラッチや脱穀クラッチを入り操作して機体の回転各部を伝動しながら、走行車体 2 5 を前進走行してコンバイン 2 3 による刈取脱穀作業を開始する。すると、圃場の穀稈は、図 6 に示すように、前端下部にある分草杆 2 9 によって分草作用を受け、ついで穀稈引起し装置 3 0 の引起し作用によって倒伏状態から直立状態に引き起こされ、株元が刈取装置 2 8 に達して刈り取られ、掻込輪体 3 2 a と掻込無端帯 3 2 b との作用を受けて掻込まれ株元チエン 1 と穂先搬送装置 3 1 に受継がれて順次連続状態で後部上方に搬送される。

【 0 0 2 6 】

このようにして、穀稈は、図 7 で解るように、多数の条列が集められて左右の搬送装置 1、3 1 によって搬送されて後部で合流し、扱深さ調節装置 3 3 から供給調節装置 3 6 に順次連続状態で受継がれ、前部受継チエン 9 の始端部に達し、補助受継チエン 1 0 の作用も受けてフィードチエン 8 の始端部に達し脱穀装置 7 に供給される。

【 0 0 2 7 】

そして、穀稈は、株元がフィードチエン 8 と挟持杆 5 7 に挟持された状態で搬送されながら、穂先部分が扱室 5 5 内に挿入されて通過する過程で、回転されている扱胴 5 4 によって脱穀される。そして、脱穀処理物は、下方の選別室に達して選別風と揺動選別装置 5 6 の作用を受けて選別処理されるものである。

【 0 0 2 8 】

以上のように、コンバイン 2 3 は、連続的に刈取脱穀作業を行い、脱穀選別した穀粒を収穫してグレンタンクに収集貯留する。

このような連続した作業中において、扱深さ調節装置 3 3 の U 字状連結部材 2 0 は、必要最小限の短い長さに形成しているから、内側の搬送通路 1 9 を通過する穀稈の株元によって、引っ掛かろうとする藁屑を搬送方向に掻き出して藁屑溜りのない状態に保たれている。そして、扱深さ調節チエン 2 の終端部にあるガイド杆 5 は、搬送されてきた穀稈の上部が後続する供給調節チエン 3 に受け継がれて扱深さ調節チエン 2 の終端部から離れるとき、株元部分に対して外側から規制して誘導作用をする。このとき、ガイド杆 5 は、扱深さ調節チエン 2 の終端部まで挟持状態で搬送され、開放されて外側に膨れようとする穀稈に対して押さえ付けるように働いて膨張を阻止し、誘導して円滑な受継ぎを促進し、稈こぼれを防止するものである。

【 0 0 2 9 】

そして、供給調節チエン 3 の終端部に達した穀稈は、挟持杆 3 7 の後部になると、下側から前部受継チエン 9 側に延長している株元ガイド杆 1 5 に下方から押し上げられるように作用を受け、上側の誘導ガイド杆 1 6 とによって挟まれて穀稈ガイド杆 1 2、1 3 の下側に誘導され、前部受継チエン 9 の始端部に受継がれることになる。このように、穀稈は、株元ガイド杆 1 5 と誘導ガイド杆 1 6 との共同作用によって供給調節チエン 3 から受継チエン 9、1 0 側に、安定した状態で稈こぼれもなく確実に受継がれる。

【 0 0 3 0 】

そして、穀稈は、前部受継チエン 9 と補助受継チエン 1 0 との搬送作用を受けてフィードチエン 5 に供給されるが、そのとき、巻き付き防止板 2 1、2 2 がそれぞれ機能して穀稈の巻き付きを未然に防止して適確に搬送することができる。

このような作業の途中において、前部受継チエン 9 と補助受継チエン 1 0 は、刈取前処理装置 1 1 の刈高さ調節作用に連動して上下に回動しても、巻き付き防止板 2 1、2 2 が、フィードチエン 8 に対して図 1 2 および図 1 3 の状態を保って穀稈の受継ぎを確実にこなうことができる。そのとき、先端部カバ - 5 2 は、図 1 4 に示す側面視のように、前部受継チエン 9 の始端部円弧部分から後退しているから、上下どの位置に移動しても、前部受継チエン 9 が受継穀稈に直接作用して掻き込み、受継ぎが良好にできる。

【 0 0 3 1 】

上述した実施例のように、本発明に係る構成によれば、扱深さ調節チエン 2 から供給調

節チエン 3 へ、更に、供給調節チエン 3 から受継チエン 9、10 に搬送穀稈を稈こぼれのない状態で円滑に受継ぎ供給することができる。そして、扱深さ調節チエン 2 と挟持杆 6 とを支持する U 字状連結部材 20 は、必要最小限の大きさまでコンパクト化して軽量、低コストとし、藁のひっかかりをなくすることができた利点を有する。更に、本発明は、各受継チエン 9、10 への穀稈の巻き付きを防止して適確な穀稈の受継ぎ搬送ができる特徴を有するものである。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の実施例であって、搬送装置の側面図である。

【図 2】

本発明の実施例であって、扱深さ調節装置の背面図である。

【図 3】

本発明の実施例であって、受継チエンの平面図である。

【図 4】

本発明の実施例であって、各ガイド杆の側面図である。

【図 5】

本発明の実施例であって、側面図である。

【図 6】

本発明の実施例であって、搬送装置の側面図である。

【図 7】

本発明の実施例であって、搬送装置の平面図である。

【図 8】

本発明の実施例であって、コンバインの側面図である。

【図 9】

本発明の実施例であって、伝動経路の断面した平面図である。

【図 10】

本発明の実施例であって、連動機構の平面図である。

【図 11】

本発明の実施例であって、巻き付き防止板の背面図である。

【図 12】

本発明の実施例であって、受継チエンが下がった位置の作用側面図である。

【図 13】

本発明の実施例であって、受継チエンが上がった位置の作用側面図である。

【図 14】

本発明の実施例であって、先端部カバ - の側面図である。

【符号の説明】

- 1 株元チエン
- 2 扱深さ調節チエン
- 3 供給調節チエン
- 4 穀稈搬送装置
- 5 ガイド杆
- 6 挟持杆
- 7 脱穀装置
- 8 フィードチエン
- 9 前部受継チエン
- 10 補助受継チエン
- 11 刈取前処理装置
- 12 穀稈ガイド杆
- 13 穀稈ガイド杆
- 14 下側機枠

- 1 5 株元ガイド杆
- 1 6 誘導ガイド杆
- 1 7 支持装置
- 1 8 支持装置
- 1 9 搬送通路
- 2 0 U字状連結部材
- 2 1 巻き付き防止部材
- 2 2 巻き付き防止部材